

「幸福感」向上のために

「世界をつなぐ口福の輪 ニュージーランド編」

「幸福感」向上をテーマにした特別企画。ニュージーランドの幸せの原点や、国技であるラグビーの強さなどの秘密に迫るため、ニュージーランドの食材を使ったレストラン、ニュージーランド大使館、女子セブンズ日本代表を訪ねます。



ラムチョップや牛肉、魚介など
ニュージーランドの恵みを堪能

猪口 特別企画の第三弾は、ニュージーランドです。ニュージーランド大使館からテサ・バースティグ一等書記官と宮崎智世大使付・エグゼクティブオフィサーをお招きし、ラグビーワールドカップ2019日本大会成功議員連盟の中谷真一事務局長、ラグビーワールドカップ2019アンバサダーの菊谷崇さん、ラグビー元日本代表の大西将太郎さんとともに、口福の輪を広げていきたいと思えます。

本日の会場「ワカヌイグリルダイニング バー東京」は、客席から東京タワーが見える素敵なレストランです。
テサ ワカヌイとは、ニュージーランドの先住民であるマオリ族の言葉で「肥沃な大地」という意味です。その名の通り、ニュージーランドの大地で育てられたラム肉や牛肉をはじめ、魚や野菜など素材の味を生かしたシンプルな料理の数々が味わえます。また、デザートは「ホーキーパーキー」も大変な人気で、ニュージーランドを知るにはびつたりのレストランです。
菊谷 ラム肉はもちろん、僕は肉を、4週間熟成させています。このラムチョップ、あと何本出てくるんだろう。もっと、食べたい…。

甘いものが大好きなので楽しんでいます。
猪口 皆さん、香ばしいにおいととも一品目が運ばれてきましたよ。佐藤彰紘アシスタントマネージャー、このお料理は？
佐藤 当店オリジナルの「ワカヌイスプリングラム ラムチョップ」です。手づかみで、かぶりつのがおすすめです。
中谷 臭みがなく、柔らかい。
佐藤 春から初夏の栄養価が最も高い時期の牧草で育った月齢3カ月以上6カ月未満の仔羊の

肉を、4週間熟成させています。
菊谷 このラムチョップ、あと何本出てくるんだろう。もっと、食べたい…。
テサ 気持ちは分かりますが、我慢してください(笑)。ラム肉以外にも、おいしい料理がたくさん出てきますから。
佐藤 本日の前菜は「真鯛のカルパッチョ」、魚料理は「キングサーモン」です。
猪口 サーモンは、ほどよい脂と燻製の香りがすばらしく、焼き加減もいいですね。
佐藤 ミディアムレアに火を入れ、桜のチップで燻しています。
中谷 食べる魚も日本と似ていますね。

宮崎 タイはもちろん、シマアジ、イセエビ、そしてアワビなどの貝も種類が豊富です。暖流と寒流がぶつかる好漁場が多く、マオリ族の人はウニも食べます。
大西 オールブラックス(※1)の選手は、釣りを趣味にしている人が多いですね。大物を釣り上げて、彼らが手にすると小さく見えますが(笑)。
佐藤 メインは「牧草牛フィレ」



いのぐちくにこ
猪口邦子
広報本部本部長代理/
国会議員ラグビー連盟所属



みやざきともよ
宮崎智世
ニュージーランド大使館
大使付・エグゼクティブオフィサー



おおにししょうたろう
大西将太郎
ラグビー元日本代表

きくたに たかし
菊谷崇
ラグビーワールドカップ2019
アンバサダー

(※1) ラグビーのニュージーランド代表



ワカヌイ グリル ダイニング
 ■バー■東京
 東京都港区芝公園 3-4-30
 32 芝公園ビル 10 階
 ☎ 03・5401・5677



佐藤彰紘
 アシスタントマネージャー

当店自慢の
 ラムチョップ、牛肉を、
 ニュージーランド産ワイン
 とともに召し上がれ!

ワカヌイ スプリングラム
 ラムチョップ



真鯛のカルパッチョ



ニュージーランド産
 キングサーモンの温
 燻製 エシヤロット
 とトマト



牧草牛フィレ



自家製ホーキーボーキーアイスクリームと
 パプロバ



です。栄養価の高い牧草を食べ
 て育った牛に、塩、コシヨウで
 味付けして炭火でじっくり焼き
 上げています。

菊谷 素材の味がいいから、何
 もかけなくていいですね。

宮崎 ニュージーランドではコー
 ヒーも人気です。中でも、イチ
 オシは「フラットホワイト」。ミ
 ルクの泡がきめ細かくて、より一
 層エスプレッソ感が楽しめます。

大西 僕もニュージーランドで
 は、フラットホワイトしか飲み
 ません。海外のラグビー選手は
 コーヒー好きが多く、日本に来
 ると必ず「おいしいコーヒー店
 はどこだ」と聞かれます。

佐藤 デザートは「ホーキーボ

ーキーとパプロバ」です。
中谷 ホーキーボーキーは、ア
 イスクリームの中に焦がしたキ
 ャラメルが入っているんですね。
 ちよつと克蘭チな食感が楽し
 いです。

菊谷 最近では日本のスーパーで
 も売っていて、その写真をイン
 スタグラムに載せたら、ニュー
 ジーランドの友達からたくさん
 コメントが来たんですよ。

猪口 パプロバは、外はサクサ
 ク、中は綿あめみたい。口だけ
 がなめらかな。

佐藤 焼いたメレンゲの上に生
 クリームとパッションフルーツの
 ソースをトッピングしています。

テサ 実は、このパプロバで、

オーストラリアと揉めることが
 しょっちゅうです。

中谷 発祥をめぐり、互いに譲
 らないのでですね。



**ラグビーワールドカップが
 来年9月に日本で開催**

猪口 私は「国会議員ラグビー

連盟」に入っています。世界が
 待ち望む祭典が来年、いよいよ
 日本で開催されますね。

菊谷 4年に一度行われる、ラ
 グビーの世界チャンピオン決定
 戦です。どの国も、この大会で
 勝つために長い時間をかけて準
 備して臨むので、出場する選手
 の思いや気迫が半端じゃないん

テサ そうです。オーストラリ
 アは本当に親しい隣国ですが、パ
 プロバとラグビーはニュージーラ
 ンドがナンバーワンです(笑)。

です。

前回のイングランド大会の観
 客は約247万人、テレビで熱
 狂したのは約40億人と推計され
 ています。サッカーのワールド
 カップ、夏季五輪と並ぶ、まさ
 に世界三大スポーツイベントの
 一つです。

テサ その大会の初戦で、日本
 代表は過去2度の優勝を誇る南
 アフリカから金星を挙げました。
 ニュージーランドも歓喜の渦に
 包まれたんですよ。

中谷 イングランドは、ラグビ
 ー発祥の地。私は、日本対サモ
 ア戦を見に行きましたが、本当
 にお祭り騒ぎでした。本場のラ
 グビー文化に触れたらただで
 なく、日本代表の勝利の瞬間を
 この目で見られたことは、最高
 の思い出です。

大西 大西さんは、2007年のフ
 ランス大会に選手として出場さ
 れましたね。

大西 ラガーマンにとって、ラグ
 ビーワールドカップは夢の舞台で
 す。子供の頃から、ずっと憧れ
 ていたので、メンバーに選ばれた
 時は、涙するほどうれしかった
 です。

中谷 最終戦のカナダ戦では、
 ロスタイムに同点となるゴール
 キックを決めましたね。

大西 これまで自分がやってき
 たことを信じて、思いっきり
 蹴りました。「これを外したら
 日本に帰れない」と、一瞬不安
 が脳裏をよぎりましたが、観客
 の声援が僕に力をくれたんです。
 僕たちが果たせなかった勝利
 を、2011年のニュージーラ
 ンド大会に出場した菊谷キャプ
 テンに託したのですが…。

菊谷 最終戦が同じくカナダと
 いう因縁の対戦で、終盤まで8
 点差でリードしていましたが、
 ラスト5分で追いつかれ、まさ
 かのドロー。掌中にあった20年
 ぶりの勝利を逃しました。ラグ
 ビーワールドカップで勝つこと



男の子も女の子も小さい頃からラグビーに親しんでいます。例えば、お子さんと一緒に、

ルールを簡単にしたタグラグビーやタッチラグビーを始められてはいいでしょう。怪我のリスクが少なく、気軽にラグビーを楽しめるのは。

また、国際大会のスーパーラグビーには日本チームの「サンウルブズ」が参加し、私は着ぐるみキャップをかぶって声援を送っています。女性サポーターも多く、一緒に応援するのがおすすめです。

菊谷 ルールを知らなくても応援を楽しめるのが、ラグビーの魅力ですね。ラグビーワールドカップは、先ほど中谷先生がお話されたようにお祭りです。街のパブではお酒を飲みながらラグビーの話で盛り上がり、試合当日はコスチュームを着てワイワイ楽しむ。席の隣が対戦相手のファンでも、

初めての大大会を楽しみにしています。厳しい戦いになると思いますが、オールブラックスには、ぜひ3連覇を達成してほしいですね。
中谷 私が期待しているのは、東日本大震災で被災した岩手



の難しさを、身をもって経験しましたね。
猪口 日本大会の概要を教えてください。

菊谷 来年9月20日に東京スタジアムで開幕し、決勝戦は11月2日に横浜国際総合競技場で行われます。北は札幌市の札幌ドームから南は熊本市の熊本県民総合運動公園陸上競技場まで、

全国12都市の会場で計48試合が行われ、大会のキャッチコピーは「4年に一度じゃない、一生に一度だ」に決まりました。世界中から集まったラグビーファンをおもてなしの心で迎え、一生に一度の素晴らしい体験を日本でもらいたいと思います。
テサ 近年、日本は非常に強くなってきていますし、アジアで

県釜石市で行われる試合です。全世界が注目するラグビーワールドカップで、釜石が復興した姿を、たくさんの人に見てもらいたいと思います。また、参加国は、試合以外にも全国59自治体52カ所の公認キャンプ地でキャンプを行います。
大西 選手は日本での交流を楽しみにしています。それぞれの地

域の特色を生かして、日本大会を盛り上げてほしいですね。
猪口 私の地元は千葉県だけど、キャンプする国はあるのかしら。
テサ 柏市でオールブラックスがキャンプをしますよ。
猪口 それは巡り合わせを感じます。中谷先生のご地元の山梨県は。

一緒に写真を撮って、試合後は互いにリスペクトしあう、などなど。こうしたラグビーを楽しむ文化や、ノーサイドの精神（※）をたくさんの人に知ってもらいたい。ラグビーの裾野を広げていくこともアンバサダーとして重要な役割だと思っています。
大西 ラグビーワールドカップはあくまで通過点。このスポーツをグローバルにするためのきっかけが、アジアで初開催となる日本大会。それを成功させるキーワードの一つは「女性」です。『りぶる』読者の皆さんもぜひラグビーの試合を見たり、ボランティアに参加したりして

もらいたいですね。ボランティアは外国語が話せなくても、18歳以上であればOK。まさに、一生に一度の体験になりますよ。開幕直前には、参加国の国会議員の先生方が山梨県でラグビーの試合をするそうですね。
中谷 はい、「世界国会議員ワールドカップ大会」です。富士山を見ながらボールに触れ合います。私はラグビーワールドカップ2019日本大会成功議員連盟の事務局長を務めています。ラグビーを「懸け橋」に国と国の結びつきがさらに強くなればと思っています。

最初は、東日本大震災で被災した岩手県釜石市で行われる試合です。全世界が注目するラグビーワールドカップで、釜石が復興した姿を、たくさんの人に見てもらいたいと思います。また、参加国は、試合以外にも全国59自治体52カ所の公認キャンプ地でキャンプを行います。
大西 選手は日本での交流を楽しみにしています。それぞれの地

中谷 フランスです。どちらもWINE（ワイン）が特産ですし、WINEWINE（ワインウイン）の関係築いていけるよう、県民の皆さんとともに応援する体制を作っていきたいと思っています。
猪口 『りぶる』読者に、ラグビーを楽しむ方法を教えていただけませんか。
テサ ニュージーランドでは、



RUGBY WORLD CUP™ JAPAN日本2019

ワールドラグビーのマークに、日本の象徴である富士山と朝日をデザインしたトーナメントマーク。テーマは「ユニティー」。日本（アジア）とラグビー伝統国の選手、ファンが一体となる願い等が込められている

「ラグビーワールドカップ2019 日本大会」公式ホームページ <https://www.rugbyworldcup.com>

おいしい料理とラグビー 両国の交流をさらに活発に



猪口 私は初代の少子化担当大臣ですが、当時、国連の障害者権利条約の草案作りに積極的だったのが議長国のニュージーランドでした。ニュージーランドでは平和主義国で、人間の社会発展にも努力されてきました。多様な文化を受け入れ、教育機会

の均等や差別のない社会を実現しています。

また、国際大会のスーパーラグビーには日本チームの「サンウルブズ」が参加し、私は着ぐるみキャップをかぶって声援を送っています。女性サポーターも多く、一緒に応援するのがおすすめです。ラグビーワールドカップは、先ほど中谷先生がお話されたようにお祭りです。街のパブではお酒を飲みながらラグビーの話で盛り上がり、試合当日はコスチュームを着てワイワイ楽しむ。席の隣が対戦相手のファンでも、

大西 オールブラックスも寛容性があり、いろいろな才能が刺激しあって、良いチームになっています。しかも、人間的に素晴らしい選手たちばかりです。
菊谷 技術的に一人ひとりの能

(※2) どんなに激しく戦っても、試合が終われば、たたえ合い、友情を誓いあうスピリット

力が高いのですが、状況判断に長けているのも強さの秘密です。例えば、攻撃を一人が仕掛けた時、他の14人が相手の守備陣形を崩しながら、一斉に動けるのは、オールブラックスだけです。

猪口 最後に、本日の感想をお聞かせください。

テサ お招きいただき、ありがとうございます。ニュージーランドと日本には共通点が多く、しかも両国民ともラグビーとラムチョップ、ホーキーパーキーが好きなのがよく分かりました。今後、さらに両国の関係が緊密になることを願っています。

大西 僕もそう思います。関西からも直行便が飛ぶようになり、ニュージーランドがより身近になったんですよ。

今日はニュージーランドでの生活を思い出しながら、本場の料理を堪能させていただきました。帰る頃には東京タワーが、オークランドのスカイタワーに見えてくるんじゃないかな。

中谷 料理はすべておいしく、今度はプライベートでも食べる来ようと思います。

日本代表のヘッドコーチは、ニュージーランド人のジェイミー・ジョセフさんです。彼のを借り、決勝戦で日本代表がオールブラックスと戦うことを夢見ています。

菊谷 海外に遠征すると、いつも食へに行くのが日本料理。でも、ニュージーランドでは、日本食が恋しくならないんです。ラムチョップ最高!

ラグビーは紳士のスポーツですが、ラグビーワールドカップを観戦する日本の皆さんには思う存分はしゃいでもらいたい。世界各国のサポーターと一緒にお酒を飲むのも楽しいですよ。

開幕まで、あと一年。アンバサダーとして、全国各地に足を運び、自分の体験やラグビーの魅力をしつかりと伝えていきたいと思っています。

猪口 ニュージーランドのおいしい料理と、素敵なラグビーのお話に幸せを感じました。アジア初のラグビーワールドカップを成功させ、幸感力をさらに高めていきたいと思っています。本日はお忙しい中、誠にありがとうございます。

読者プレゼント

ニュージーランド産 「ALL BLACKS® マヌカハニー」 を5名様に

濃厚な味と香りが特徴の天然100% マヌカハニー。インターネット上で産地証明書などを確認できる、品質保証された生はちみつです。アスリートにもエネルギー化しやすく、またピロリ菌対策として人気です。

ご希望の方は、巻末のハガキでご応募ください。締め切りは平成30年7月10日消印有効。当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

商品問い合わせ (株) プレイン

☎ 03・5228・1735

ALL BLACKS® マヌカハニー 日本正規総輸入代理店

<https://pbees.jp>

